



2021年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

2020年10月22日

上場会社名 小松ウオール工業株式会社

上場取引所 東

コード番号 7949

URL <http://www.komatsuwall.co.jp/>

代表者(役職名) 代表取締役社長

(氏名) 加納 裕

問合せ先責任者(役職名) 取締役常務執行役員管理本部長

(氏名) 熊田 雅巳 (TEL) 0761-21-3131

四半期報告書提出予定日 2020年11月11日

配当支払開始予定日

2020年11月24日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第2四半期の業績(2020年4月1日~2020年9月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第2四半期	14,555	△14.5	453	△68.3	505	△65.0	304	△67.0
2020年3月期第2四半期	17,029	12.5	1,427	71.2	1,442	70.4	921	71.9

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第2四半期	32.88	—
2020年3月期第2四半期	99.90	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第2四半期	39,559	33,997	85.9
2020年3月期	41,351	34,057	82.4

(参考) 自己資本 2021年3月期第2四半期 33,997百万円 2020年3月期 34,057百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	40.00	—	45.00	85.00
2021年3月期	—	40.00	—	—	—
2021年3月期(予想)	—	—	—	45.00	85.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年3月期の業績予想(2020年4月1日~2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	33,000	△12.0	1,500	△59.9	1,580	△58.1	1,000	△61.2	108.19

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2021年3月期2Q	10,903,240株	2020年3月期	10,903,240株
2021年3月期2Q	1,644,149株	2020年3月期	1,672,865株
2021年3月期2Q	9,249,595株	2020年3月期2Q	9,226,820株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

(注) 期末自己株式数及び期中平均株式数の算定上控除する自己株式数には、「株式給付信託(BBT)」に係る信託財産として、株式会社日本カストディ銀行(信託E口)が保有する当社株式(2021年3月期2Q 206,900株、2020年3月期 235,700株、2020年3月期2Q 235,700株)が含まれております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」の記載事項をご覧ください。

添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する説明	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の世界的な拡大により、経済活動の停滞が継続しており、一部に経済活動の回復に向けた動きも見られますが、依然として厳しい状況にあります。

このような状況にあって当社は、従業員の安全を最優先に考え、新型コロナウイルス感染症の拡大防止に配慮しつつ事業活動を展開してまいりました。生産部門においては、業務スペース分散など感染リスク低減を図りつつ、業務を継続できる体制を維持してまいりました。営業部門においては、設計事務所へのアプローチを強化したことにより、設計指定額が堅調に増えている一方で、新型コロナウイルス感染症の影響を受けて受注活動の停滞は避けられず、また当初見込んでいた工事の受注時期が遅れる等影響が出ていることもあり、厳しい事業環境で推移しました。

当第2四半期累計期間の経営成績につきましては、上記の状況から官公庁向け、民間向けともに大都市圏を中心に低調に推移いたしました。

売上高全体としては、145億55百万円となり、前年同四半期と比較して14.5%の減少となりました。受注残高につきましては、前年同四半期比7.7%の減少となっております。

利益面につきましては、減収による影響を業務の効率化等で補うことができず、売上総利益率は33.9%（前年同四半期比1.3ポイント悪化）となり、また、販売費及び一般管理費の節減に努めたものの、営業利益は4億53百万円（前年同四半期比68.3%減）、経常利益は5億5百万円（前年同四半期比65.0%減）、四半期純利益は3億4百万円（前年同四半期比67.0%減）となりました。

当第2四半期累計期間の品目別売上高、受注高及び受注残高は次のとおりです。

品目別売上高、受注高及び受注残高

(単位：百万円)

当第2四半期累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)						
品目	売上高		受注高		受注残高	
	金額	前年同 四半期比 (%)	金額	前年同 四半期比 (%)	金額	前年同 四半期比 (%)
可動間仕切	5,141	85.3	5,264	78.7	3,159	93.6
固定間仕切	3,446	86.7	4,131	90.2	4,721	92.3
トイレブース	2,619	84.1	3,605	90.5	3,327	99.8
移動間仕切	2,605	86.6	2,477	74.1	3,685	83.3
ロー間仕切	240	77.6	230	71.3	63	82.9
その他	501	84.7	673	109.8	331	136.5
合計	14,555	85.5	16,383	83.9	15,288	92.3

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期会計期間の末日における財政状態は、総資産は395億59百万円となり、前事業年度末と比較して17億92百万円の減少となりました。

資産の部では、流動資産は249億19百万円となり、前事業年度末と比較して15億21百万円の減少となりました。これは主に、現金及び預金26億24百万円等の増加と、受取手形及び売掛金31億92百万円、電子記録債権9億97百万円の減少によるものであります。固定資産は146億40百万円となり、前事業年度末と比較して2億71百万円の減少となりました。これは主に、投資その他の資産に含まれる保険積立金2億40百万円等の減少等によるものであります。

負債の部では、流動負債は37億50百万円となり、前事業年度末と比較して18億23百万円の減少となりました。これは主に、買掛金5億82百万円、未払法人税等5億7百万円、流動負債「その他」に含まれる未払消費税4億80百万円、賞与引当金1億30百万円等の減少等によるものであります。固定負債は18億11百万円となり、前事業年度末と比較して91百万円の増加となりました。

純資産の部では、純資産の総額は339億97百万円となり、前事業年度末と比較して59百万円の減少となりました。以上の結果、自己資本比率は85.9%となりました。

当第2四半期累計期間におけるキャッシュ・フローにつきましては、内部留保の充実を図りつつ、運転資金、設備投資、株主還元等へ資金を充当しております。

その結果、当第2四半期累計期間の末日における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、116億86百万円（前年同四半期累計期間末は89億74百万円）となりました。なお、当第2四半期累計期間におけるキャッシュ・フローの状況は以下のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動により増加した資金は、31億51百万円（前年同四半期は23億80百万円の増加）となりました。これは主に、税引前四半期純利益4億83百万円の計上、売上債権の減少額41億89百万円、減価償却費4億84百万円等による増加と、法人税等の支払額6億25百万円、仕入債務の減少額5億82百万円等による減少によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動により減少した資金は、0百万円（前年同四半期は19億25百万円の減少）となりました。これは主に、保険積立金の払戻による収入2億83百万円、定期預金の預入及び払戻による純収入1億円、有形固定資産及び無形固定資産の取得による支出4億22百万円によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動により減少した資金は、4億25百万円（前年同四半期は3億77百万円の減少）となりました。これは主に、配当金の支払によるものであります。

（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期の通期の業績予想につきましては、2020年7月20日公表の業績予想から変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

（1）四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（2）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：百万円)

	前事業年度 (2020年3月31日)	当第2四半期会計期間 (2020年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	12,462	15,086
受取手形及び売掛金	10,462	7,270
電子記録債権	2,591	1,593
たな卸資産	741	781
その他	183	186
流動資産合計	26,440	24,919
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	10,378	10,544
機械装置及び運搬具	6,870	7,142
土地	4,646	4,646
その他	1,336	1,272
減価償却累計額	△11,314	△11,702
有形固定資産合計	11,917	11,904
無形固定資産		
484	484	484
投資その他の資産		
その他	2,517	2,259
貸倒引当金	△7	△7
投資その他の資産合計	2,509	2,251
固定資産合計	14,911	14,640
資産合計	41,351	39,559
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,962	1,379
未払法人税等	702	195
賞与引当金	1,095	965
その他	1,814	1,210
流動負債合計	5,573	3,750
固定負債		
退職給付引当金	1,398	1,474
役員退職慰労引当金	86	86
役員株式給付引当金	136	140
その他	97	109
固定負債合計	1,720	1,811
負債合計	7,294	5,561

(単位：百万円)

	前事業年度 (2020年3月31日)	当第2四半期会計期間 (2020年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,099	3,099
資本剰余金	3,035	3,035
利益剰余金	30,551	30,430
自己株式	△2,674	△2,628
株主資本合計	34,012	33,937
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	44	60
評価・換算差額等合計	44	60
純資産合計	34,057	33,997
負債純資産合計	41,351	39,559

(2) 四半期損益計算書

(第2四半期累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自2020年4月1日 至2020年9月30日)
売上高	17,029	14,555
売上原価	11,041	9,620
売上総利益	5,987	4,935
販売費及び一般管理費	4,559	4,482
営業利益	1,427	453
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	6	5
受取保険金	—	39
受取家賃	11	11
その他	6	8
営業外収益合計	24	65
営業外費用		
売上割引	10	12
営業外費用合計	10	12
経常利益	1,442	505
特別損失		
固定資産除売却損	—	10
減損損失	—	11
特別損失合計	—	22
税引前四半期純利益	1,442	483
法人税、住民税及び事業税	507	137
法人税等調整額	13	41
法人税等合計	520	179
四半期純利益	921	304

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自2020年4月1日 至2020年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	1,442	483
減価償却費	481	484
減損損失	—	11
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△2	—
受取利息及び受取配当金	△6	△6
売上債権の増減額(△は増加)	1,859	4,189
たな卸資産の増減額(△は増加)	△202	△40
仕入債務の増減額(△は減少)	△328	△582
退職給付引当金の増減額(△は減少)	65	75
役員株式給付引当金の増減額(△は減少)	14	3
その他	△189	△847
小計	3,133	3,770
利息及び配当金の受取額	6	6
法人税等の支払額	△758	△625
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,380	3,151
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△4,000	△3,400
定期預金の払戻による収入	2,400	3,500
有形固定資産の取得による支出	△241	△349
無形固定資産の取得による支出	△68	△73
保険積立金の払戻による収入	—	283
その他	△16	38
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,925	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△377	△425
財務活動によるキャッシュ・フロー	△377	△425
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	77	2,724
現金及び現金同等物の期首残高	8,896	8,962
現金及び現金同等物の四半期末残高	8,974	11,686

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

前事業年度の有価証券報告書の(追加情報)「新型コロナウイルス感染症の感染拡大に関する会計上の見積り」に記載した新型コロナウイルス感染症の今後の広がり方や収束時期等を含む仮定について重要な変更はありません。